

一 総括表 一

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

≪地域の現状≫

【神大寺】

人口 13,257人 ↓ (2022/9現在)

[14歳以下 1,378人 ↓ 65歳以上 3,618人 ↑ 75歳以上 1,913人 ↑ 高齢化率 27.2% ↑]

戸建てと集合住宅が広がる、山坂が多い住宅地である。昨年より町内会では、毎月27日に防災パトロールが開始され防災対策の強化に向けて動いている。また高齢化率は3地区内で一番高く、このコロナ禍で足腰の筋力低下がみられる高齢者が少なくない状況である。地域(地区社協)ではフレイル予防として「健康フェス」を開催したりと健康を意識した取り組みを行っている。つくし会(昼食会)では、高齢者が自分の足で参加するような出向きの場としての取り組みを設けている。昨年より地域福祉保健計画を進めるコアメンバーチームが発足し、地域福祉に対する意識が向上している。

【片倉】

人口 14,001人 ↑ (2022/9現在)

[14歳以下 1,740人 ↓ 65歳以上 3,041人 ↑ 75歳以上 1,676人 ↑ 高齢化率 21.7% →]

ブルーラインの駅を中心に南北に伸びた農地や自然公園もある住宅地である。戸建てが多いが、集合住宅も多く散在している。地域福祉保健計画に関しては、地区推進会議開催後に地域住民への周知の為「支え愛プラン通信(地福)」を発行しているなど福祉活動への理解がある地域である。区内連合地区21地区中3地区が民生委員の欠員がない中、片倉地区はこの中の1地区であり、地区全体で見守り活動を強化している。また片倉地区は近隣の小学校(1校)と子供の育成に対して連携を取り合っている。また子どもの居場所づくり再開に向けて活動しており、コロナ禍で中止していた「かたくらんど」が昨年12月に再開する。小学校と連携を取って子どものセーフティネット強化に向けて取り組んでいる。地域内にある金融機関が移転したり閉店したりと、生活に支障をきたしている高齢者も少なくない状況である。

【三枚】

人口 5,343人 ↑ (2022/9現在)

[14歳以下 825人 → 65歳以上 1,016人 ↑ 75歳以上 469人 ↑ 高齢化率 19.0% ↑]

農地や樹林地など、緑豊かな環境の地と住宅地となる地域であり、上町エリアと下町エリアに分かれている。2町会は住民同士の繋がりに力を入れた取り組みが多く、グランドゴルフ、ボーリング、健康麻雀、食事会など、自治会やシニアクラブを中心にした活動が活発に行われている。また新駅開業の頃より住宅地が増えるとともに子供の数も増えてきている。年少人口の増加に伴い子供の会の活動も増えており、子どもを通じての繋がりが強い。高齢化率も神奈川区平均より低くここ数年維持している。また交通環境では、商業施設までの交通が不便であることから、地域では民間企業の移動販売開始に向けての計画が動き始めている。

※人口統計数の矢印は、2021年9月と比較(横浜市ポータルサイトより)

≪今後の方向性≫

地域の生活の質の向上のためネットワーク構築の強化に向け取り組んでいく。

地域と双方向の情報交換を心がけながら地域課題に取り組んでいく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	<input type="checkbox"/>	三枚地区5月(上三枚自治会館)神大寺地区10月(神大寺地区センター)片倉地区2月(片倉生協)に出向き見守りキーホルダー登録会と出張相談会を年1回程度行う。
■	<input type="checkbox"/>	身近な場所に、民間の移動販売車を通し住民同士が繋がることが出来る取組を地域住民と共有しながら進めていく。
■	<input type="checkbox"/>	R6年2・3月に2回コースで遺言作成と任意後見契約について地域住民向けに講座を行う。
■	<input type="checkbox"/>	横浜市地域活動リハビリテーション支援事業を活用しPTを講師に招き、ケアマネジャー向けにICFについての勉強会を開催、自立視点を重視したケアプラン作成が作成できるよう支援する。
■	<input type="checkbox"/>	地域や介護支援事業者に参加を依頼し、「長期化したコロナ禍で何が起こったか？」をテーマに包括レベル地域ケア会議を開催し課題の整理を行い地域支援の介入の糸口とすることができる。

◆ 事業報告・事業実績評価

■みまもりキーホルダーの登録会&相談会を行った。5月15日上三枚自治会館で開催した。1名の参加がある。10月12日片倉町自治会館で開催した。47名の参加がある。2月29日神大寺地区センターにて開催。みまもりキーホルダーの登録者はいたものの新たな相談につながるケースはない状態であった。みまもりキーホルダーの登録会については今後地域の登録会開催希望に応じた開催とする。開催時には相談に繋がるよう地域包括支援センターのパンフレットを参加者にお渡しするなど工夫を行っていく。

■株)ダイエーの移動販売車を買物困難の多いエリア5カ所に通すことが出来た。バスなどの交通機関を使わずに、そして近所の方と一緒に買物が出来ることは高齢者の生活の質の向上につながった。移動販売の日に合わせてミニサロンを立ち上げるなどの効果も生まれている。また、この取組を通じて、ケアプラザを身近な存在であると認識し、相談しやすい環境になった。

■判断能力があるうちに自分らしい最期を迎える備えとして1月27日任意後見・事務委任契約、2月3日遺言についての内容で開催した。

■横浜市地域活動リハビリテーション支援事業を活用しPTを講師に招きケアマジャー向けにICFについての勉強会を開催し自立視点を重視したケアプランが作成できるよう支援した。

■地域ケア会議を通してコロナ禍が長期化し感染予防から外出することを控えたことで高齢者は体力低下(フレイル状態)が顕著となり自分自身の力で出向きの場に出向くことが難しい状態になっている。しかし人と繋がりたい会いたいと言う気持ちは持ち続けていることを討議やグループワークを通し共通認識することができた。今後はこのような状況を考慮しながらケアプラザの活動に生かしていきたい。

<全体を通して>

■新型コロナが5類感染症に移行し、当ケアプラザでは基礎的感染対策を継続にて、職員はもちろんサービスをご利用者の皆さま・貸館利用の皆さま方にもご協力していただくことで、感染を広げることなく現状も経過している。ケアプラザ内での講座や催しなどにも参加者が増え、ボランティア活層も盛んになりケアプラザ・地域の活性化に繋がってきている。

■ケアプラザ内部部署毎の連携も密になってきている。ボランティアの受入れになどは地域交流から通所への情報共有、虐待関係では部署を越えての会議開催、BCP研修など横の繋がりが強化してきている。

□ 区からのコメント

今年度は、地域活動が本格的に再開する中で、継続的な取組の実施と新たな取組への挑戦を織り交ぜながら、地域の支援を進めた1年だったかと思います。

地域アセスメントでは、データに基づいてアセスメントを行い、地域や関係機関との情報共有ができています。地域の中の一人ひとりの持つ生活課題とその背景、経緯や現状を把握することで、地区課題の把握に繋がりますので、引き続き、実践・継続し、日々の支援に役立ててもらいたいと思います。

社会資源の開拓・開発・支援について、認知症の普及啓発の取組の一つであるロバメイトフェスティバルでは、中学校を巻き込みながら、若い世代がより地域福祉に関心を持つきっかけになったと思います。また、ケアプラザの働きかけにより、地区の地域福祉推進会議で、認知症サポーター養成講座の感想を動画で発表することにもつながりました。他地区では例のない素晴らしい取組です。今後も、講座をきっかけとして、地域のつながりを広げていただくことを期待しています。

職員体制・育成では、災害時対応への備えとして、福祉避難所のマニュアル改定やBCPの策定を実施しました。各部署での組織としての役割や各職員の具体的な対応等を理解することであり大切です。引き続き、職員の防災意識向上のための継続的な訓練・研修等をお願いいたします。

権利擁護業務では、多くのケースで素早い対応をしてもらったことで、本人の意思を確認でき、結果として、重篤な状態にならなかったと考えています。今後は、より一層の対象者の増加が見込まれますので、早期の支援により関係機関が連携して支援できるよう、継続した取組をお願いします。

在宅医療・介護連携推進事業では、地域のかかりつけ医と住職が、それぞれの立場から人生の終末期について語るという講座を実施しました。ACPの啓発に宗教を取り入れることで、一人ひとりの住民の方にとって、多角的にものを考えるきっかけとなったように思います。

介護予防支援事業では、横浜市地域活動リハビリテーション支援事業を活用し、ケアマネジャーを対象にICFの研修を開催しました。高齢者が地域で自立した日常生活を送るためには、ICFの概念を盛り込んだ支援が必要になりますが、実現が難しい内容にはなりますので、継続して少しずつでも進めてもらいたいと考えています。

地域ケア会議では、モデル地区として積極的に取り組み、対象地区へのアセスメント、住民との意見交換、課題提議など、前向きな動きも多くありました。移動支援においても、会議の内容を確実に協議体につなぎ、着実に高齢者の生活の質の向上を図っています。

今後も、地域のさまざまな課題に対し真摯に向き合い、柔軟な発想で取り組みを進めてもらいたいと考えています。よろしく申し上げます。

令和5年度片倉三枚地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ■ 予防支援計画の委託に関しては、利用者の希望に沿って行い、特定の事業者には偏らないようハートページなどを提示したうえでサービス事業所を選択してもらうなどし、偏って支援することがないように公正中立を心掛けた業務に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日々業務内に発生したヒヤリハット・事故報告を共有し事故防止・再発防止に努める。また事故発生リスクが高い環境にある通所介護では事故の原因の分析、事故再発防止に努める。 ■ 個人情報を取り扱う場合はより慎重に行い、保管場所への施錠、送付する場合のダブルチェックの徹底など取扱い管理の強化に努める。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ■ 重要事項説明書等で、特定の事業者には偏った紹介をしないことを明記し、職員もご利用者の事業者選定に関して恣意的な誘導はせず、ご利用者が複数から選択できよう支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事故発生時には、迅速に対応し事故が起きた原因・是正等を振り返り、職員会議で周知し再発防止に努めた。 ■ 個人情報は鍵付き書庫・専用保管室に保管をし、施錠、送付時はダブルチェックにて確認した。全職員

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活支援コーディネーター及び地域活動交流コーディネーターと情報共有や協力体制が出来ている。 ■ 利用者本人自らが計画作成に参画して、利用者本人が納得した計画を作成することが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連機関と連携し、包括的継続的ケアマネジメントが実践できるようになる。 ■ 住み慣れた地域で本人が望む生活が実現できるよう、個々のACPを実践できるようになる。
利用料金	<p>【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>
職員体制	看護師1名、主任介護支援専門員1名、社会福祉士1名、介護支援専門員1名 計4名	管理者(兼務)1名 常勤1名 非常勤2名 計4名
契約者数	2023年度3月末 要支者契約数(256件)	2023年度3月末 要介護者契約数 123件 要支援者契約数 29件

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の「出来る事」の継続、「やりたい事」が増やせ、在宅生活が維持できるような、生活を意識した生活支援を行う。	「ご自身のやりたい事」「自分の事を自分で選択できる」を目標に、地域生活の継続を援助する。	実施しておりません
実施体制	<p>【実施日数】 週6日(月～土) 介護予防・第1号は週5日(月～金)</p> <p>【提供時間】 9:30～16:30 介護予防・第1号は9:30～13:30</p>	<p>【実施日数】 週6日(月～土)</p> <p>【提供時間】 9:30～16:30</p> <p>【定員】 12名</p>	
利用料金	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額</p> <p>【その他料金】 実費分 昼食代810円/個別活動費 実費</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額</p> <p>【その他料金】 実費分 昼食代810円/個別活動費 実費</p>	
職員体制	管理者1名/生活相談員2名 介護職員11名/看護師4名 送迎運転手10名	管理者1名/生活相談員2名 介護職員11名/看護師4名 送迎運転手10名	
契約者数等	<p>【延べ利用者数】6,683名</p> <p>【契約者数】 30 名</p>	<p>【延べ利用者数】1,454名</p> <p>【契約者数】 4名</p>	

令和5年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	健康ひろば (介護予防講座)	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者を対象に介護予防に関する知識の普及・啓発を図り高齢者が自ら日常生活で取り組みを実践する方法を周知する。	1:高齢者	5	6月23日(金):神大寺地区センター 体力測定 7月21日(金):神大寺北神クラブ(シニアクラブ)体力測定 2月15日(木):親交会(神大寺地区シニアクラブ)出張健康講座	3	49
2	～江ノ電で行く～ 大人のぶらり鎌倉	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ウォーキングを通し楽しみながら介護予防の取り組みを行うことができる。(体力づくりや外向きの場の提供・仲間づくり)	1:高齢者		3月19日(火) 江ノ電に乗り車窓から風景を楽しむ。また鎌倉の名所を散策する。	1	8
3	民生委員との交流会	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	日頃の民生委員さんの活動で苦慮されていることや地域課題を共有しながら情報共有ができる。	5:地域		4月14日(金)神大寺地区民生委員 4月17日(月)片倉地区民生委員 【内容】 *ケアプラザ職員紹介/民生委員自己紹介 *ケアプラザとは/地域包括支援センターとは/生活支援コーディネーターとは *見守りのポイントについて *意見交換会	2	15
4	おれんじろば連絡会	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	キャラバンメイト同士のチーム作りを行うと共にエリア内のキャラバンメイトが円滑活動できるよう情報共有しを行う。	5:地域	5	①4月24日(火):令和5年度の取り組みについて ②5月24日(水)::2023年ロパフェスにおける認知症サポーター養成講座について ③6月21日(水):2023年ロパフェス打ち合わせ ④7月21日(水):2023年ロパフェス打ち合わせ	4	44
5	民生委員とケアマネジャーの交流会	令和5年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	*地域の民生委員からケアマネジャーとの交流会を開催して欲しいとの要望があった。 *関係性を構築することにより支援者同士が円滑に情報共有できるため。 *お互いの役割を知り、民生委員とケアマネジャーとの顔の見える関係づくりができる。	5:地域	6	9月29日(金) 【内容】 *介護保険とは *ケアマネジャーの仕事とは *民生委員の役割とは *(見守りを通したテーマ)グループワーク グループワーク発表	1	26
6	介護予防ケアマネジメント研修 ICFを活用したケアマネジメントの実践～本人が望む生活の実践に向けた支援～	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防支援・介護予防ケアマネジメントをケアマネジャーに委託しているがサービスありきの支援計画書も多く『自立支援』の視点でケアマネジメントが遂行されるとはいきえない。アセスメントの重要性を意識しICFの理念を学びその視点を活用したアセスメントを行うことによって『自立支援』に資するケアマネジメント遂行をすることができる。	6:事業者		3月15日 *横浜市地域リハビリテーション活動支援事業を活用しリハ職派遣により済生会神奈川県病院より理学療法士を講師にお呼びする。 *包括圏域内で活動している居宅介護支援事業所向けにICFの視点に基づいたケアプランの策定ができるよう研修を実施する。	1	8
7	市民公開講座 「生き方と逝き方について考える」	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	医療と介護を融合させることで自らの終末期を考えこれからの生き方や逝き方を考えるきっかけとすることができる。また、地域住民が自分の最期を考えるにあたり縁起でもない事と遠ざけるのではなく身近にあるものと考えて頂く機会を作ることができる。	5:地域		11月22日(水) *ケアプラザ協力医福澤医師による講演(医療から見たACP) *なごみ庵浦上住職による講演(最期まで自分らしく生きるには)医療面と仏教の両面からACPを考える *地域包括支援センター社会福祉よりライフデザインノート紹介と配布	1	36
8	ステップアップ研修	R4	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民協力のもと認知症に関する事業を多く開催しているが支援者視点で開催することも少なくない。横浜市が実施しているチームオレンジ事業を活用し支援者同士で地域課題を共有したり当事者やその家族の視点を踏まえた認知症取り組みができる地域を目指す。	5:地域		認知症ステップアップ研修を開催し地域においてチームオレンジのメンバーになることのできる人材の養成を行う。(4/5・4/8・4/24・5/4・5/13・5/24/7/26)	7	52
9	いろばた茶屋	H30	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	包括担当エリアの総合相談を受ける中で資源につながりにくい人を専門職が介入することで状況に応じたタイムリーな支援につなげることができている。また包括エリアの広範囲の参加者が参加しやすい体制作りとしてボランティアによる送迎サービスがある。	5:地域		毎月第2土曜日 13:00～14:00 当事者の外向きの場や居場所の提供を目的とした取組。	12	118

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
10	介護者のつどい	H29	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	前年度、身近な場所でのつどいを開催したところ介護者から気軽に参加できるとの声が聞かれた。今後もこの形で継続していく。また「介護者のつどい」の開催目的は介護の負担軽減・ストレス緩和・介護の情報提供であるため必要に応じ介護に役立つ情報も提供していく。	5：地域		地域は神大寺6月、片倉8月、三枚10月に実施。開催時間は1時間。上記以外にも、ニーズに応じ講座を設ける。5月外出支援、11月音楽会、3月講演会を開催予定	3	10
11	みまもりキーホルダー登録会と相談会	R5	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	みまもりキーホルダー登録会を地域に出向き行ったところ登録がきっかけで総合相談につながったケースがあった。このことから総合相談へのきっかけとして登録会と相談会を行う。	1：高齢者	7：その他	各地域で三枚5月、神大寺10月、片倉2月に実施予定。時間は相談会も含めて2時間とする。	3	54
12	エンディングノート普及啓発講座	H31	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	神奈川県版エンディングノート(ライフデザインノート)の活用がされていない現状があり普及啓発・利用促進のため地域住民や専門職に対し普及啓発活動を継続し行う必要がある。	5：地域	6：事業者	神奈川県地域包括支援センター連絡会にて開催内容を検討。年間1、2回開催予定	1	6
13	介護保険サービス事業者向け虐待研修	R5	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	昨年度虐待ケースを分析した結果、居宅支援事業所からの虐待報告が多い事がわかった。発見しているのは介護支援サービス事業者であり、その後居宅支援事業所、地域包括支援センターと把握までの流れが多くある。虐待を発見する頻度の高さから虐待について早期発見が行えるよう介護保険事業所全体が学べる機会を作る。	6：事業者		介護保険サービス事業者向けに虐待について早期発見が行えるような内容で開催7/26PM開催予定。	1	23
14	遺言作成、任意後見を知ろう	R5	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	判断能力のあるうちに、その人らしい最期を迎える為の備えとして遺言作成や任意後見契約等を地域住民に普及啓発していく。	5：地域		事業目的に応じた地域住民向けの遺言作成、任意後見について講座を開催する。R6年2月3日2回自コース実施予定	2	21
15	司法書士の無料相談会	H23	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民が士業に成年後見制度等について相談する機会は少ない。身近なケアプラザで士業の無料相談会を開催する必要がある。	5：地域	7：その他	司法書士による1組30分の無料相談を行う6/24開催予定 主催：神奈川県包括支援センター連絡会/神奈川県社会福祉協議会	1	8
16	行政書士の無料相談会	H23	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民が士業に成年後見制度等について相談する機会は少ない。身近なケアプラザで士業の無料相談会を開催する必要がある。	5：地域	7：その他	行政書士による1組30分の無料相談を行う10/21開催予定 主催：神奈川県包括支援センター連絡会/神奈川県社会福祉協議会	1	6
17	いろはた茶屋かたくら店	R4	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	認知症カフェとして認知症高齢者の居場所づくり、介護者の気分転換、地域への認知症啓発の他、認知症サポーターの活動の場や、事業所と地域のネットワークづくりを進めていく	5：地域	5：地域	毎月第1木曜日 10:30～12:00 当事者の出向きの場や交流の場とした取組。認知症サポーターの活躍の場であり、同行支援や傾聴を行っている。	11	119
18	グリーンピア片倉交流会	H28	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	高齢期での転居のため、地域や住宅内での孤立・孤独が課題となっている。住民同士の交流の場づくりをし、身近なテーマで話し合う場を設け、近隣との助け合いを構築する。民生委員や地域の専門機関と連携を図り地域社会との関わりを増やす。	1：高齢者	1：高齢者	毎月第3月曜日 10:30～12:00 身近なテーマ(防災・詐欺被害・医療・介護など)で話し合い、住民同士の交流を深める。	11	93
18	ヒルズ神大寺おもいやり会	H28	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	高齢期での転居のため、地域や住宅内での孤立・孤独が課題となっている。住民同士の交流の場づくりをし、ミニ講座開催や身近なテーマで話し合う場を設け様々な情報を提供し、自立した生活を支援していく。自助・共助の力を養う場。	1：高齢者	1：高齢者	毎月第4木曜日 14:00～15:30 身近なテーマ(防災・詐欺被害・医療・介護など)で話し合い、住民同士の交流を深める。	11	69
18	押し花ボールペンづくり	令和5年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	手先を動かしながら脳の活性化をすることができ、出向きの場や交流の場を提供することができる。	1：高齢者	5	4月25日(火) 押し花講師をお呼びし手づくりでボールペンを作りをする。	1	15

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業			1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
19	新型コロナウイルス2023年最新情報	令和5年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	5月から新型コロナウイルスも2類から5類となるがどのように日常生活を送れば良いか医師という専門家の立場から正しい情報を発信することができる。また地域住民が感染症の対応について正確な知識を持ち安心・安全日常生活を過ごすことができる。	5: 地域		6月14日(水) ケアプラザ協力医(福澤クリニック・福澤邦康医師)講義を行う。	1	7
20	元気なうちから考えよう～わたしのライフプラン～	令和5年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	神奈川県版ライフデザインノートが活用されていない現状があるため地域住民に対して神奈川県版ライフデザインノートの普及・啓発活動を行い活用利用の推進を図るため。	1: 高齢者	5	7月31日(月) 【内容】 *わたしの健康(フレイル予防を中心に) *わたしの備え(サポートが必要となった時) *自宅でできる簡単体操	1	6
21	グリーフケア～大切な人を亡くされたあなたへ～	令和5年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	身近な人との死別を体験し悲嘆に暮れている地域住民が健在しているため、悲しみから少しでも立ち直れるような支援を知るきっかけ作りができる。	5: 地域		9月6日(水) 講師に玉置妙憂氏(看護師・スピリチュアルケア師・僧侶)を招き、グリーフケアについての講話を行う。 ケアプラザの協力医の相談日を活用して開催し協力医の協力もある。	1	11
22	中学生向け認知症サポーター養成講座	令和5年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	認知症について知ることができ自身できそうなことを考えることができる。	4: 子ども・青少年		9月2日(土) 第6回ロバメイトフェスティバルにおいておれんじろぼ(エリア内キャラバンメイトさん)が中心となり中学生向け向けに認知症サポーター養成講座を行う。	1	29
23	令和5年度地域向け見守り研修会『孤独死問題と見守り支援のあり方を考える』～整理現場からのアドバイス～	令和5年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	エリアにおいて年に数件の孤独死が起きている。孤独死となるリスクの高い事例について学び、見守りの視点について知識を得て活動に生かすことができる。	5: 地域		12月2日(土) アールキューブ株式会社 あんしんネット事業部長 整理コーディネーターの石見良教氏を講師にお呼びし地域の見守り活動の担っている地域人材向けに研修会を行う。(参加対象者:民生委員/ふれあい活動員/自治会役員/地域活動者など)	1	19
24	カームやまゆり出張講座	令和5年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	カームやまゆりの生活援助員より居住者に対して地域包括支援センターの役割や健康講座を開催して欲しいとご相談があったためカームカームやまゆり居住の住民に対し地域包括支援センターや健康づくりの周知を行う。	1: 高齢者		12月11日(月) I: ケアプラザとは II: 地域包括支援センターについて III: わたしの健康/フレイル予防を中心に IV: ライフデザインノート V: お家でできる簡単体操	1	41
25	だいまる保健室出張健康講座	令和3年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民にケアプラザの協力医を周知すると共に医療に関する有益な情報を提供することができる。	1: 高齢者		2月7日(水) ケアプラザ協力医(福澤クリニック): 福澤邦康医師による「お医者さんとの上手な付き合い方」の講話を行う。	1	26
26	ケアマネジャー座談会～自然災害時においてできること～	令和5年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	支援者として自然災害における課題の洗い出しができる。また介護事業者には2024年3月までにBPCCの策定が義務付けられているため今後災害時における介護と医療の連携やネットワーク構築を図るきっかけづくりができる。	6: 事業者		3月15日(金) 「自然災害時(地震・水害時等)あなたの利用者をどう支えますか?」をテーマに座談会を行う。	1	7
27	ティールームもくせい	平成15年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域作業所「もくせい」の協力を得て、お茶とパンやクッキーを提供するティールームを開催。地域の方が気軽に外出し、地域作業所に従事する障がい者と地域住民の交流の場とする。	5: 地域		毎月第4火曜日13:00～14:00(8月より13:45～)多目的ホールを会場とし、地域作業所「もくせい」が提供するお茶とパン・クッキーの販売。地域の方が気軽に立ち寄り、作業所職員と交流する。	12	128
28	かなプラ子育て応援タイム	平成21年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	乳幼児とその親向け。子育て中の保護者が孤立しない育児ができるよう仲間づくりのきっかけや必要な情報を提供する。	3: 養育者及び乳幼児		年3回実施。音楽会、体をつかった親子遊び、絵本読み聞かせとクリスマス会。子育てのヒントとなる遊びを提供したり、普段はできない体験の機会をつくる。	3	60
29	フラワーブーク講座	令和5年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の多世代交流のきっかけづくりとして地域住民であるお花屋さんを講師に身近な場所で集う事の楽しさを体験してもらう。	5: 地域		手軽にできるフラワーアレンジメントの手法であるフラワーブークのつくり方	1	11
30	マイナス10才若みえ!ビルブイス調整エクササイズ	令和5年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	いきいきと外出するため、正しい姿勢を学び、健康アップ増進を図る	1: 高齢者		2023年4月4日(火)10:00～11:30 2023年4月18日(日)10:00～11:30 全2回コース 講師:介護予防運動指導員	2	35
31	屋下がりのミニコンサート～リコーダーアンサンブル～	令和5年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	外出不安のある高齢者に対し、ケアプラザで事業を行うことで外出の機会を促す。また、幅広い世代への呼びかけをし、多世代が顔の見える関係性になることを目指す。	5: 地域	1, 2, 3, 4	2023年5月1日(月)13:30～14:30 MSO70によるリコーダー演奏	1	29
32	昭和の日だよワクワクマジックショー	令和5年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	外出不安のある高齢者に対し、ケアプラザで事業を行うことで外出の機会を促す。また、幅広い世代への呼びかけをし、多世代が顔の見える関係性になることを目指す。	5: 地域	1, 2, 3, 4	2023年4月29日(土)13:30～14:30 うらしマジックさんによるマジックショー	1	27

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
33	春爛漫～三浦でいちご狩り&三崎まぐろ産直センターへ行こう♪～	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	外出することに抵抗感が増している高齢者に大使、楽しい事業をきっかけに外出の機会を促すエリア内高齢者同士の仲間づくり	1:高齢者		2023年4月11日(月)9:30～15:00 バスハイク 行先:三浦	1	14
34	LSAとの交流会	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	エリア内のLSA(生活援助員)事業を対象に、包括・担当民生委員との交流を図り、市営住宅の高齢者の見守りを強化する	1:高齢者		2023年6月30日(金)13:30～15:00 各事業説明交流会	1	9
35	とこピン会(地域の移動支援)ブレ走行	令和5年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	エリア内の高齢者移動困難者に対し、地域主体の移動支援の仕組みを構築する	1:高齢者	1,5	2023年6月15日(木)10:00～14:00 2023年8月15日(火)10:00～14:00 2024年度本格稼働に向けたブレ走行	2	36
36	貸館利用団体懇談会	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザの貸館利用者、利用希望者向けに貸館の利用目的や意義を伝え、活動の励みにしていただくとともに、同じ部屋を利用するもの同士、互いの活動を知り、自分の活動に役立てる。	5:地域		貸館里王マニュアルw利用者向けに作成し、利用方法や意義についての説明、その後グループ分けしての交流会。	4	24
37	お裁縫ボランティア	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	お裁縫が好きな地域住民と夏休みを利用したボランティア活動に興味のある学生で多世代交流を図る。お互いに茂樹しあい、ボランティア活動の喜びを学ぶきっかけとする。	6:事業者		若い学生が得意なことと高齢者が得意なことなどお互いに助け合って認知症啓発活動で使用するシュシュを手縫い。複数回参加する方もいて交流することができた。	5	31
38	夏休み陶芸教室	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みを利用した多世代交流。地域の高齢者と小学生～中学生がともに作品を作ることで知り合い交流するきっかけづくりとして開催。昨年度は宿題お助けとしたが、地域のなかで子どもを育てる意義を伝える。	5:地域		各自2回コース。1回目は土ひねりでほぼ作成し、2回目は仕上げで交流する。	5	53
39	ボランティアのつどい	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ボランティア活動の意義を伝え、活動で気をつけることや悩み事の共有をすることで、互いの活動を尊重し、地震の活動の励みとするための交流会を開催する。	5:地域		活動紹介として音楽ボランティアの活動を共に楽しみ、その後交流し良い時間を過ごせた。	2	48
40	第6回ロバメイトフェスティバル	平成30年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	「認知症にやさしい地域づくりのために、広く地域に向けて認知症の啓発を行う。 ・今年度新たに実行委員会が発足、運営委員主体のロバメイトフェスティバル開催を目指す。	5:地域	5	実行委員会の話し合いに参加し運営委員会が主体となり活動できるよう支援を行う。 9月2日実施 中学生向けサポーター養成講座 当事者講演会 模擬店など	1	300
41	クリスマスリース講座	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザに来館する機会のない地域住民にケアプラザの機能を知ってもらい、地域活動の意義を伝える場を提供する。	5:地域		地域住民の講師にお願いし、自然とふれあう意義や地域活動の良さなどの話をしながら多世代に関心のある作り物を作成する講座を開催。	1	18
42	秋の外出企画 小江戸「川越」ぶらり散歩	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	外出に不安を感じる高齢者のために、ケアプラザが行う事業をきっかけに安心して参加していただき、外出の機会を作り、介護状態なるリスクの軽減を図る。	1:高齢者	1	10月30日(月)実施 川越散歩、仲間作り。	1	17
43	おとこめしの会～豚汁を作ろう♪～	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	男性の定年退職後は地域住民との関わりが少なく交流する場も限られている。また、家族介護に追われるなど様々な理由から孤立化する男性が多い。元気うちからの男性の孤立化を防止する。	1:高齢者	1	11月14日(火)実施 料理を通して、男性同士の交流を図る(豚汁作り)	1	8
44	珈琲テイasting講座	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	男性の定年退職後は地域住民との関わりが少なく交流する場も限られている。また、家族介護に追われるなど様々な理由から孤立化する男性が多い。元気うちからの男性の孤立化を防止する。	1:高齢者	1	12月15日(金)実施 珈琲の学びの場を作り男性同士の交流を図る	1	5
45	オータムコンサート	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザを知り、足を運び、気軽に利用し相談できることを知っていただくための企画。 また、神奈川区助っ人バンクを利用しまちの講師の活躍の場とする。	5:地域	1,2,3,4,5	10月7日(土) 白幡事を楽しむ会による演奏	1	14
46	なかまる地域交流祭	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	中丸小学校区域の自治会・町内会やその周辺の団体と地域住民との繋がりを強化の為の取組	5:地域	1,2,3,4,5,6	11月11日(土) ケアプラザブース:パターゴルフ	1	293

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
47	六角橋中学校3年生向け認知症サポーター養成講座	R5	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	エリア内及び近隣エリア中学生に向けた、認知症サポーター養成講座を実施することで、見守りの目を増やし、認知症高齢者が住みやすいまちにする。	4:子ども・青少年	5, 7	2月26日(月) 9:00~10:40 六角橋中学校3年生特別授業枠 認知症サポーター養成講座	1	241
48	3ポイントミーティング	R4	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザエリア内の3地区の地区社協会長及び地区社協役員と地域の福祉・保健の課題を見つけ、その解決の支援。	5:地域	5	実施日 7月8日(土)16:00~	1	7
49	認知症サポーター養成講座	R5	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域のニーズに応じ、認知症の方の接し方や地域で支える認知症について認知症サポーター養成講座を開催する。	5:地域		民生委員さんからの声により地域のサロンで認知症サポーター養成講座を開催。 実施7/19	1	13
50	認知症サポーター養成講座 神大寺地区センター職員向け	R5	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	神大寺地区センター館長より職員向けに認知症サポーター養成講座開催の依頼がある。	5:地域	6	実施12/18 神大寺地区センター職員に向けた認知症サポーター養成講座を開催	1	15
51	ステップアップ研修	R5	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民協力のもと認知症に関する事業を多く開催しているが支援者視点で開催することも少なくない。横浜市が実施しているチームオレンジ事業を活用し支援者同士で地域課題を共有したり当事者やその家族の視点を踏まえた認知症取り組みができる地域を目指す。	5:地域		認知症ステップアップ研修を開催し地域においてチームオレンジのメンバーとなることのできる人材の養成を行う。 年数回開催予定	7	52
52	介護者のつどい特別企画 「ハンドベル演奏会」	R5	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	介護をされている方に癒しを感じていただくために開催する。	5:地域		10月25日実施 ハンドベルを演奏するボランティア活動団体に演奏を依頼し癒される時間を提供	1	9
53	オレンジランプ映画上映会	R5	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民に若年性認知症を広く普及啓発するため、住民に好評であった映画会という形で開催する	5:地域	6	オレンジランプという若年性認知症をテーマとした映画上映を行い地域の認知症に対する理解を深めるとともに認知症となっても安心して暮らせる地域を目指す 3月30日40名×2回開催	1	65
54	いろば茶屋ほくほく新年会	R5	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	認知症の方でもそうでない方も一緒に季節を感じつつ楽しめるよういろば茶屋にて会食会を開催する。	5:地域		1/13いろば茶屋ほくほく新年会として開催。昭和の名曲を歌い昔を思い出しながら季節を感じる会とする。	1	13

令和5年度「片倉三枚地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,932,421	2,316,342	21,248,763	19,932,881	1,315,882	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	250,000		250,000	82,100	167,900	
雑入	0	0	0	78,559	△ 78,559	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	73,169	△ 73,169	
その他			0	5,390	△ 5,390	
その他	3,264,118		3,264,118		3,264,118	
収入合計	22,446,539	2,316,342	24,762,881	20,093,540	4,669,341	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,940,000	0	10,940,000	8,143,714	2,796,286	
本俸	7,500,000		7,500,000		7,500,000	
社会保険料	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
手当計	2,300,000		2,300,000		2,300,000	
健康診断費	40,000		40,000		40,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他	100,000		100,000	8,143,714	△ 8,043,714	
事務費	1,796,539	0	1,796,539	1,209,310	587,229	
旅費	20,000		20,000	16,140	3,860	
消耗品費	500,000		500,000	265,982	234,018	
会議開費	10,000		10,000	6,900	3,100	
印刷製本費	250,000		250,000	196,567	53,433	
通信費	300,000		300,000	235,616	64,384	
使用料及び賃借料	21,000	0	21,000	21,120	△ 120	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,000		21,000	21,120	△ 120	
その他			0		0	
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	10,000		10,000	1,528	8,472	
振込手数料			0	262	△ 262	
リース料	100,000		100,000	73,452	26,548	
手数料	50,000		50,000	30,781	19,219	
地域協力費			0		0	
その他	435,539		435,539	360,962	74,577	
事業費	306,000	0	306,000	127,293	178,707	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	264,000		264,000	127,293	136,707	
その他			0		△ 139,612	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検		139,612		139,612	△ 139,612	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検		139,612		139,612	0	
管理費	7,930,000	0	7,930,000	7,169,622	760,378	
光熱水費	5,000,000		5,000,000		5,000,000	
清掃費	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
機械整備費	300,000		300,000		300,000	
設備保全費	830,000	0	830,000	0	830,000	
空調衛生設備保守	350,000		350,000		350,000	
消防設備保守	50,000		50,000		50,000	
電気設備保守	50,000		50,000		50,000	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000		30,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	350,000		350,000		350,000	
共益費			0		0	
その他	300,000		300,000	7,169,622	△ 6,869,622	
修繕費	474,000	2,176,730	2,650,730	2,733,280	△ 82,550	予算：指定額
公租公課	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
事業所税			0		0	
消費税	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	22,446,539	2,316,342	24,762,881	19,522,831	5,240,050	
差引	0	0	0	570,709	△ 570,709	

自主事業費 収入	250,000	0	250,000	82,100	167,900	
自主事業費 支出	264,000	0	264,000	127,293	136,707	
自主事業 収支	△ 14,000	0	△ 14,000	△ 45,193	31,193	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	73,169	△ 73,169	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,000	0	21,000	21,120	△ 120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 21,000	0	△ 21,000	52,049	△ 73,049	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和5年度「片倉三枚地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,439,736		30,439,736	28,968,049	1,471,687	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000	300,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,872,697		5,872,697	5,872,697	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	20,000		20,000	14,700	5,300	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	50,000		50,000	71,500	△ 21,500	
雑入	0	0	0	2,000	△ 2,000	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	2,000	△ 2,000	
その他	2,772,500		2,772,500		2,772,500	
収入合計	39,608,933	0	39,608,933	35,382,946	4,225,987	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,140,000	0	33,140,000	31,007,193	2,132,807	
本俸	18,000,000		18,000,000		18,000,000	
社会保険料	4,500,000		4,500,000		4,500,000	
手当計	10,000,000		10,000,000		10,000,000	
健康診断費	40,000		40,000		40,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他	600,000		600,000	31,007,193	△ 30,407,193	
事務費	1,662,933	0	1,662,933	1,082,596	580,337	
旅費	150,000		150,000	107,345	42,655	
消耗品費	400,000		400,000	286,010	113,990	
会議贈い費			0	0	0	
印刷製本費	200,000		200,000	138,846	61,154	
通信費	250,000		250,000	189,496	60,504	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	30,000		30,000	16,324	13,676	
振込手数料			0	220	△ 220	
リース料	30,000		30,000	16,032	13,968	
手数料	50,000		50,000	30,781	19,219	
地域協力費			0		0	
その他	352,933		352,933	297,542	55,391	
事業費	1,490,000	0	1,490,000	1,192,342	297,658	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	154,181	△ 54,181	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000		151,000	143,953	7,047	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000	284,895	15,105	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000		309,000	105,313	203,687	
その他			0	0	0	
管理費	3,190,000	0	3,190,000	1,905,843	1,284,157	
光熱水費	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
清掃費	500,000		500,000		500,000	
機械整備費	100,000		100,000		100,000	
設備保全費	390,000	0	390,000	0	390,000	
空調衛生設備保守	150,000		150,000		150,000	
消防設備保守	20,000		20,000		20,000	
電気設備保守	10,000		10,000		10,000	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000		10,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	200,000		200,000		200,000	
共益費			0		0	
その他	200,000		200,000	1,905,843	△ 1,705,843	
修繕費	126,000		126,000	34,650	91,350	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	39,608,933	0	39,608,933	35,222,624	4,386,309	
差引	0	0	0	160,322	△ 160,322	

自主事業費 収入	70,000	0	70,000	86,200	△ 16,200
自主事業費 支出	860,000	0	860,000	688,342	171,658
自主事業 収支	△ 790,000	0	△ 790,000	△ 602,142	△ 187,858

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 片倉三枚地域ケアプラザ

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位: 千円)

	科目	第1号介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	14,000	16,094	-2,094	25,454	25,084	370	76,324	72,608	3,716	3,966	3,240	726	24,665	16,671	7,994
	その他	0	0	0	178	6	172	120	364	-244	0	0	0	0	49	-49
	事業・負担金収入			0			0			0						0
				0			0			0						0
				0			0			0						0
				0			0			0						0
				0			0			0						0
	その他			0	178	6	172	120	364	-244					0	49
	収入合計(A)	14,000	16,094	-2,094	25,632	25,090	542	76,444	72,972	3,472	3,966	3,240	726	24,665	16,720	7,945
支出	人件費	4,000	3,860	140	19,080	18,089	991	67,694	51,467	16,227				0	7,199	-7,199
	事務費	300		300	1,832	2,540	-708	16,200	15,188	1,012				0	3,123	-3,123
	事業費			0	384	215	169	11,280	9,372	1,908				0	1,400	-1,400
	管理費	200		200	1,000	880	120	7,600	5,275	2,325				0	917	-917
	その他	9,000	10,191	-1,191	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	利用者負担軽減額			0			0			0						0
	消費税			0			0			0						0
	介護予防プラン委託料	9,000	10,191	-1,191			0			0						0
				0			0			0						0
				0			0			0						0
	その他			0			0			0						0
	支出合計(B)	13,500	14,051	-551	22,296	21,724	572	102,774	81,302	21,472	0	0	0	0	12,639	-12,639
	収支 (A) - (B)	500	2,043	-1,543	3,336	3,366	-30	-26,330	-8,330	-18,000	3,966	3,240	726	24,665	4,081	20,584